

材料試験について

常態試験（引張試験） 適用試験規格：JIS K 6258

試験の概要

Outline of the Test

ダンベル状又はリング状試験片を引張試験装置を用いて破断するまで引っ張り、引張強さ、伸び及び引張応力を求める試験方法。

試験方法

引張試験は最も基本的な試験法として、各国の規格でもまず第一に取り上げられています。

引張試験の試験方法は、架橋したゴムシートを打ち抜いたダンベル状の試料を一定速度で引っ張って試験を行ないます。

ダンベル状試験片のうち、3号形試験片及び5号形試験片を標準試験片として、その採取作製は原則としてゴムの列理（グレーン）の方向と平行に採ります。又、その試験片の数は、3個以上となっています。

- 引張強さ： 破断するときの引張応力 破断時の単位面積当りの荷重 (Mpa/cm²)
- 切断時伸び： 破断するときの伸び 破断時の伸び (%)

引張速度によって引張特性は異なり、JIS K 6251 では引張速度は試験片の形状に応じて、100mm/min、300mm/min、500mm/min と定められています。



試験におけるポイント Point of the Test